



第 12 回東アジア空港同盟(EAAA)年次総会を開催しました

日中韓の主要な空港会社の経営幹部が一同に会する「第 12 回東アジア空港同盟(EAAA)年次総会」を本日、当社がホストとして開催しました。「環境面で持続可能な新しい空港戦略」をテーマに掲げ、各社の代表経営幹部級の出席者が取組み事例を紹介し、環境対策等に関する協議を行いました。会議の締めくくりとして、環境問題への意識向上を目的とした取組みを月ごとにリレー形式で実施する、環境リレー宣言を採択しました。

<集合写真>



<環境リレー宣言>



本会議でホスト役を務めました当社の代表取締役社長・安藤圭一は、次のようにコメントしております。

この度は、EAAA という東アジアを代表するリーディングエアポートの経営トップの皆様が一堂に会する重要な会議をここ関西空港で開催し、ホストをつとめることが出来、大変光栄に思っております。今回のテーマは「環境面で持続可能な新しい空港戦略」ということでしたが、各空港それぞれのアイディアで環境対策を講じられており、環境先進空港として取り組んでいる関西空港/伊丹空港にとっても、非常に意義深く、印象的なものでした。また、今回は、2009年のEAAA会議の際に調印した環境宣言をより深め、意識向上を進めるべく「環境リレー宣言」の調印を行いました。環境問題への意識向上を目的とした取組みを2014年1月より、12空港が月毎にリレーする方式で取組みを進めることとなります。詳細内容につきましては各空港会社において今後決定しますので、どうぞご期待下さい。

【EAAAとは】

East Asia Airports Alliance: 東アジア空港同盟)の略称で、東アジア、すなわち日中韓の大規模国際空港運営に共通する課題の解決に共同で取り組み、東アジア圏における空港および航空サービスの向上に資するため、2001年12月に設立された組織。

現在、13社が加盟し、年2回の会議(コーディネーター会議および幹部級が出席する年次総会)を開催。ホスト空港は持ち回りで、2013年度は当社がホストを務める。





※加盟空港会社 総計 13 社

＜日本＞計 5 社

・新関西国際空港(株)・成田国際空港(株)・日本空港ビルデング(株)・中部国際空港(株)・東京国際空港ターミナル(株)

＜韓国＞計 2 社

・仁川空港公社(IIAC)・韓国空港公社(KAC)

＜中国＞計 6 社

・首都机场集团公司(CAH・北京)・上海机场集团有限公司(SAA)・広東省机场管理集团公司(GAMC・広州)

・香港国際機場(AAHK)・澳門国際機場專營股份有限公司(CAM・マカオ)

・大連国際机场股份有限公司(DLIA)



KIX20th ITM75th

東アジア空港同盟（EAAA） 環境リレー宣言（仮訳）

東アジア空港同盟（EAAA）の加盟会社の代表者は、「グリーン・エアポート」のリーダーとして、大阪に2013年10月10日に集まり、

2009年9月18日に仁川国際空港にて署名された以下を目的とするEAAAグリーン・エアポート宣言における考え方を改めて想起し、

1. 環境に配慮した成長は持続可能な開発の要点である
2. 地球環境への配慮は我々が行動をとるうえでの主要な判断要因である
3. 持続可能でより質の高い生活を現在及び将来の世代につなげていく

空港環境の保全と改善に取り組む上で関係者を啓発・リードすることの意義と意志を認識し、

このような目的を達成することを、加盟会社が心をこめて取り組んでいくことを再確認し、

以下のとおり合意し、決定した。

1. 12の加盟空港において、月毎にリレーする方式で、環境意識の向上に資する取組みを実施すること
2. このような環境面の取組みを実施するに当たっては、航空会社、空港関連事業者、政府機関その他の関係者の支持と参加を得ること
3. このような環境面の取組みについての情報交換を行い、12の加盟空港におけるリレー方式による取組みが終了した時点で、それぞれの取組みの成果と課題を報告・共有し、そのような取組みについて公表すること